

3
3624

大対身御鏡

大対身御鏡

大対身御鏡

大対身御鏡

大対身御鏡

大対身御鏡

入道

入道

入道

入道

入道

入道

諸國道中

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代

新撰田代



東海道 里敷賃銭

秋葉鳳来寺道

本坂越

宮ノ佐屋廻

伊勢叅宮道

伊勢田丸越

木曾海道 同上

江戸北國加賀道中

信州善光寺道

尾州越前海道

江戸奥州諸之道法

江戸水戸海道

諸國道中記

伊勢ヨ大和廻

大津ヨ大坂道

伏見ヨ大坂下船

大坂ヨ紀州道

大坂ヨ長崎道

大坂ヨ長崎船路

江戸ヨ甲州海道

江戸ヨ江嶋鐘倉道

江戸ヨ大山叅詣道

江戸ヨ日光道中

上総房州道法

人馬駄賃刻増附

東海道 五十三駅 百廿四里半十寺

日本橋ヨ 廿九丁又 九丁又 八丁又

品川ヨ 里 八丁又 八丁又

江戸日本橋方の方に 浄城のりくと新白の かつゆき新金橋一橋

小田原丁ヨ江戸橋の 上から来るの山より山

名目ヨ 中橋日本 橋は南へ早橋はまじ

系橋中込を早丁ヨ志ん 橋系橋分八丁とよま

幸橋ヨ ありこ山も あり河のこ山ま

中込の家長勅進せし との源助は小込

橋分丁ヨ 川が 源助橋分丁ヨ 大の方

木曾海道 六十九駅 百廿五里十寺

日本橋ヨ 廿九丁又 九丁又 八丁又

板橋ヨ 里 八丁又 八丁又

日本橋方の方に 浄城のりくと新白の かつゆき新金橋一橋

小田原丁ヨ江戸橋の 上から来るの山より山

名目ヨ 中橋日本 橋は南へ早橋はまじ

系橋中込を早丁ヨ志ん 橋系橋分八丁とよま

幸橋ヨ ありこ山も あり河のこ山ま

中込の家長勅進せし との源助は小込

橋分丁ヨ 川が 源助橋分丁ヨ 大の方

神のまゝに飯食神の
 とのふ社之。増とまは
 神菩提の
 後小松院の御宇西巻
 とくの開基もて浄宗
 十八だん林の惣布寺
 あり。○金杉橋うら川
 橋を平丁。元札の辻は
 不芝田町の口丁めえと
 と日中橋を一里。右の
 方は八まへえと後河の綱
 がちかきことと。○田町
 の九丁と夫がじ町といふ
 是より不川と庄町之を
 の海少く安房と縁のや
 るく。法皇の大船多
 く入陣し日中一のみま
 あり。○たの泉岳寺け
 ち小義士四十六人の墓
 あり。○如来寺大和と
 寺といふ。○あんま堂



筋違御門

神田明神

江戸日本橋



東中

てたよ神田明神の社
 とたよ聖堂もけり
 中一丁あり。四丁めたよ
 する場あり。あつこの場
 といふたよ本食もけり
 ○本は六丁と。○東
 川為。○追分たへけり
 約通。王子岩淵。日光
 海乃え。○た板橋といふ
 あり。○竹丁七八丁けり
 たよ小坂も坂も白
 山の交も。○たの方
 約辺の東。深井石二
 の社も。けり。深井の
 菅原をえり。○竹丁
 より。東もけり。おろご
 町。○すわ町。のたよ
 地。たよ。是は。けり。けり
 小あ。た。地。た。す。けり
 町。を。けり。けり。けり

○いさり○太子堂○
甲申堂○海上禅林と
いふ額あり○もち東
禅寺といふ地志あり
○けしきあり○いふ
○やぶの町をいふ
新町○ふ川の入口にあり○たよ
いさりの社志○けしき
芝の浦といふ風流いふ
る○いふ

宗祇法師

やのぬよりいふ
煙ありたつあふ
ありけむ志といふ浦人

ふ川が二里
平百廿又
う七十三又
人あ十又

たよ東浦の法庵和尚
の田舎に大地に○い
あり○ぬの志あり○ふ
あり○ぬの志あり○海

景がめみちの志あり○
観音堂○流川○ははを
場○ははをいふ○
けしきありをいふ○
らけしきありをいふ○
いふ○八丁村○大
敷和中散むきわ細工
名物○石地志○いふ
○まがひ○天祐○水地
田南がま○いふ○志
町八幡塚といふ○六丁
の後いふ○大橋
り○がけいふ○いふ
武者の外あり十又
ふ川にいふ○いふ

万葉集

玉川といふ○いふ
さしりいふ○いふ
さしりいふ○いふ
け川よみ水通をいふ
け川よみ水通をいふ

たよ東浦の法庵和尚
の田舎に大地に○い
あり○ぬの志あり○ふ
あり○ぬの志あり○海

板橋が二里
平百廿又
う七十三又
人あ十又

宿中よ橋といふ川王
子一流○やむをいふ
中坂○いふ
いつは村○志といふ村○
志村より坂といふ坂の下
法ありいふ村をいふ
田の目し場をいふ
ありいふ川をいふ
村といふ川をいふ

及びいふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり

浦和八丁村
八丁村

○白く村○ははを
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり
いふ村といふ村にあり

大橋十丁村
十丁村

○志の丙をいふ
社志の社志といふ
社志の社志といふ
社志の社志といふ
社志の社志といふ
社志の社志といふ
社志の社志といふ

東中

とすけ渡しのよま矢
口と云ふ所多新田は
おき渡しのあつては
本新田の社をいふ所を
て矢を渡す

川崎 二里
本百廿五文
七十五文
かみ川 一里
八十五文

○宿の入口をたのむか二
里程行て大師河原と
云ふ弘法大師の自他の
御影の厄除大師として
御影の八丁ありて西
方ありて橋のめぐりと橋
と云ふ二つあり○市場
茶屋○はな○なま
むきちや屋○小や
入は小やとく十二天へり
和信の形及難風ふ
おの○新橋のいさ川
のり村たのいさ浦

治を啄る同セり本を
観音あり

観音あり
一里 中四十五文
二里 七十五文
三里 九十五文

○宿を出たのいさ浦
係をいふは徳助の社
ら○宿の内小橋と橋を
とをある本と云茶屋
と云はあつて山の根を
りありて○酒いは○
志あり○民家のかや
小穴ら富士の人穴と
り○追わらふ山道之
○かきびく古のつみん
しが程ヶ谷と云ひし
あり合を程ヶ谷と云
たは合を○酒間か

日
程ヶ谷 二里 中百廿五文
戸塚 九丁 八十五文

合掛の
山あり○たの方東の
ありて成ありてちが原
と云は成ありてちが原
方小云成ありての社を
いふ

大宮 二里 中七十五文
八十五文
阿比 八丁 八十五文

○古の町村は道より
ちが原あり○小系村
○大宮村はより又承之
○た田村○く引村
○かみ村○たよ川越及

上尾 一里 中三十五文
七十五文
桶川 一里 八十五文

○たの方小系村より
ちが原二里半は日
光ありて○たよせん
たの社を○本村○

門あり○南村○た小
と云村○たよらふ山
とて林を雷てん文ら○
町あり○いと本村

桶川 一里 中七十五文
七十五文
かみ川 一里 八十五文

○宿の内浄念あり○と
たら新田○元徳のまな
天祥の文ら○ちが原門
あり○いさの浦を
たの方小あり○あり
ま村○まのり○と
あり○あり○まの茶屋
堂○浄念の文ら○あり

浄の巢 二里 中百廿五文
八十五文
○宿の

○はらまきし山坂入○
 長久村たは八幡宮村
 宗寺と○おきりも坂
 ○志まの坂たは山
 坂のよちも茶屋あり
 ちも尼持軍のちり中
 その秘音堂とけり
 武彦相摸の坂とせり
 いまも○おま種○げ
 ぶや○かむ村けり大山
 道と○又代と○吉田茶
 屋と○先か路倉と
 鶴がと二里とせり
 音と二里と○矢野町

とらたは山坂入林
 ○たの方たは林行
 道とせり日光とせり
 ○こむ村渡辺の洞とせり
 下たは松の道と○
 ちも八幡
 宮と○こむ村とせり
 又海とせり○まの砂村
 ○吹上茶屋とせり
 小悪くけりた○たは山
 王の洞とせり
 ちも海とせり
 沿えたはあり川とせり
 けり昔の松益とせり
 ○久下村○宿をゆく等
 竹院と云種と○分
 少村と○徳谷入りの
 あり無海とせり

○大坂○白土坂茶屋
 ○お者町とせり
 山とせり
 ちも茶屋あり
 ちも茶屋あり
 ○うげや茶屋と○や
 以○道場坂

○宿の由た代方とせり
 竹院のまと○着の茶
 茶門ありとせり
 山とせり
 ちも海とせり
 あり○たの方とせり
 善生山徳谷とせり
 徳谷直実とせり
 ちも川とせり
 沿えたはあり
 ○ちも村○たは山
 ちも村○たは山
 徳田村永井村○南の
 のちも村○ちも村
 ちも州の赤城とせり
 ○けり茶屋とせり
 徳谷とせり
 村○茶とせり
 の道と○たは山
 ちも茶とせり

○大坂○白土坂茶屋
 ○お者町とせり
 山とせり
 ちも茶屋あり
 ちも茶屋あり
 ○うげや茶屋と○や
 以○道場坂

○宿の由た代方とせり
 竹院のまと○着の茶
 茶門ありとせり
 山とせり
 ちも海とせり
 あり○たの方とせり
 善生山徳谷とせり
 徳谷直実とせり
 ちも川とせり
 沿えたはあり
 ○ちも村○たは山
 ちも村○たは山
 徳田村永井村○南の
 のちも村○ちも村
 ちも州の赤城とせり
 ○けり茶屋とせり
 徳谷とせり
 村○茶とせり
 の道と○たは山
 ちも茶とせり



としてゑきせり。○あんが
うよき茶やあり。○百
入川毎やじく武家の
外ありん十丈ありは川
相換川の甲斐のさる橋
流る。○いんがたふ丁ま
小白く村を義経のさ
を埋しぬといひ白く
明神とありありて社
る今いれあひの文といふ
○八幡町八まんまるといふ

○右の村。○やと村
○黒ア村。○黒のいし
○彩田。○黒○せと良田
○二里ありり坂をな
地蔵と。○小川川寺の
水細くありりりりり
あつせが海りりりり
田村。○いりり村。○な
いりりりりりりりりり
けと武州とと州の塚む
けと堂と名付ととと
の方と通るととととと
ととと。○武州の山
二里と武州の山
ととと。○武州の山
ととと。○武州の山

かふ山道とて道より
中仙道徳管とて

城山。○信州の
同山とて

○たよめうららの山権現
の宮と。○花水川花水橋
○あつせが海りりりりり

○右の末を小幡村と
いふととととととととと
ととと。○武州の山
ととと。○武州の山
ととと。○武州の山

○あつせが海りりりりり
○いんがたふ丁ま
○小白く村を義経のさ
を埋しぬといひ白く
明神とありありて社
る今いれあひの文といふ

○たよめうららの山権現
の宮と。○花水川花水橋
○あつせが海りりりりり

○あつせが海りりりりり
○いんがたふ丁ま
○小白く村を義経のさ
を埋しぬといひ白く
明神とありありて社
る今いれあひの文といふ

○たよめうららの山権現
の宮と。○花水川花水橋
○あつせが海りりりりり

○あつせが海りりりりり
○いんがたふ丁ま
○小白く村を義経のさ
を埋しぬといひ白く
明神とありありて社
る今いれあひの文といふ

○たよめうららの山権現
の宮と。○花水川花水橋
○あつせが海りりりりり

○あつせが海りりりりり
○いんがたふ丁ま
○小白く村を義経のさ
を埋しぬといひ白く
明神とありありて社
る今いれあひの文といふ

○たよめうららの山権現
の宮と。○花水川花水橋
○あつせが海りりりりり

御人堂を立て西行
法師の像を安置す
東性居士 三石岡

鴨立 伏見村を
鴨立くんとあさき方の
さひゆもせん

○あやしくち小虎うら
○小破橋を妖地蔵あり
○粟のち○西府○新島
蔵王堂○坊をさす

鴨立



○赤松河○入口よ坂と
るき山は梅沢山最巻と
○吾妻の村の社と○梅
沢茶屋の向屋と○
押切入小橋と○前川
小橋あり○西府河
の非は橋とたの方十
丁程のくろ我中村の
里と○北面は園中
乗寺との小橋を何
小田原を二里半小
八幡ありと毛より
油きりてまひり
日村茶屋も○あり
川を○供あま湯白川
と一流とさるれり
から流るるをち橋
○一も村町とら
油きりてまひり
く名ありと毛より
系の傳りつとより



岩鼻村

とある運賃御定
本馬十文 煙尻十二文
人豆十文

倉敷 一里 廿五文
十九文 廿五文
倉敷 丁 人廿八文

宿の吉向は浅間山之
あり○佐野の通より
西之佐野の赤じとて
名あり○傍は茶屋と
○田中村長杉あり

岩鼻 一里 廿七文
廿五文
板倉 元丁 人二十文

○たの塚あり本宿油
道第一の塚とては本
綿たむ綿たむと名
物と○鳥川ハ榛名山
出くは塚の西とて
い川とて倉倉之清水山
松音あり景地は
と書ふ一の宮の
○小がとてとて
村○たの八幡村ハ橋を

板倉 三本 廿五文
十文 廿五文
安中 丁 人十七文

町あり板倉河
○石の方小
山あり其根を
い川流る○中宿安中
川橋あり

小田原 八丁 箱根 八丁
寄附共又
うさぎ 二五五
人二百九十九

○たの寺は 名物かうい
らう○鑑のまき○梅千
○ちんちん○町中まき
之にまのたの方と熱
海への道と○風中つり
たの杉山を石垣山と云
○長興山津泰寺鉄牛丸
関基と○山立村○早
川橋と○三枚橋とよ
まのゆくり道あり
しち八丁○おし橋を
よりてたの湯中へ通
る○湯中村へは早を
あきてお茶家の寺と
○寺宗降宗祇とち先
修にまの世の世と向
まのふらふらとま
まのやまのま



相州小田原

けりまの山つり
たの地藏堂と○曹我
堂月又郎と見物と表
のき石矢の根石おし
ゆり○まのまは○悪ひ
能○まの板のたのみ
城路と○まののまを
あてきまの湯中河
細を高ふまかんぐ
ちんちんまき
○まの板のまの

安中 一里 松井田 丁
寄附共又
うさぎ 九十九
人百九十九

たのたの妙善山と
けりま一里への道と
里あり○けりま山と日
中第一の山と之と
奇峯きとひまの石
門ありたの山とて馬
まのたのま



白雲山 妙徳大権現

松井田 二里
寄附共又
うさぎ 百七
人百七

坂東礼の観音と○ま
塘○まの板り○丸山
坂と○又銘茶釜と
る○まの本○ま
○小山の妙義と○
板川村○伊園石青碓水
の山園石と○不安中
新まの山と○綱根日
やう○川久保やと
まの

坂東の二里
寄附共又
うさぎ 百七
人百七

○さるまじう坂○てはの
 口坂○追だの○白水坂
 ○八丁坂たまきの湯五
 三きとの坂くつれも除
 組いふをうび大勢をえ
 たる湖のたつてたの箱
 根権現の通と権現の室
 言年中満月上人の墓
 あり曹我あふ時むひり
 宮物とくく○さの河
 系地藏堂○たまだうが
 崎舟更○の御保御園
 小田系城まの勤もある
 女人武を境よりさく
 一石通建をたつてさる
 一の町家のものも形あ
 なるまの通○こまや○新
 やまこひ入ははる昔
 へ三つうと味よのさひ
 きりあつたの御保
 〇町中へ御保の御保



月
 箱根の三里 中百廿二
 三崎へ 廿八 〇二百廿二
 〇二百廿二
 志和じ町○むら坂○志
 石坂○かゝる坂○風う
 境本○たつて平○あ
 山の峰嶺○あ○甲石坂
 ○石系○大られ本○か
 き本○山中若葉○のり
 是より二崎へ二里は

是より坂中へ○表
 坂○房子○がくく○
 とおより○せん種○
 二投○追込風穴○一
 里坂○のとき○さん
 神名茶屋○よりわり切
 ○座をくらげ○かま
 の飯○くらが平○入る
 くら○すまめ坂○山岸
 村まご○山中坂○ひや
 い○二里坂○むきが平
 ○うまやとら○さる
 坂○崎志やじ町をより
 ちり坂○くらが平○あ
 ち平○さうとらけ○ひ
 ちり坂○氷師と腫
 信濃の坂
 信濃
 箱根の
 一里 中百廿二
 〇二百廿二
 〇二百廿二

是より山へ○なる
 山○境のたつたれ村○
 あは○浅間の絶頂とい
 なる二里○當りけの入
 はる坂あり
 月
 当掛の 一 中百廿二
 追分へ 二 〇二百廿二
 〇二百廿二
 けりか系津の温泉へ
 十里○けき浅間の麓
 ありけりか焼石焼砂



まりの之。長坂。大志
 くれ。さく。系。茶。屋。も
 ○中。長。坂。○こ。つ。屋。茶。屋
 ○。玉。法。法。海。寺。○一。の
 茶。屋。○。堀。系。茶。屋。○
 ○。の。が。系。○。今。井。坂。の
 た。の。社。○。か。ら。町
 ○。之。の。入。口。は。小。橋。也

俣豆
 二。の。一。里
 中。六。十。八。又
 二。百。十。七。又
 人。三。十。七。又

た。の。之。の。明。神。の。社。○
 大。社。之。左。は。清。鏡。の。社。○
 ○。此。の。古。分。曆。を。信。り
 之。の。曆。と。の。○。○。又。田
 千。貫。植。け。梅。俣。豆。と。後
 河。の。坂。○。駿。河。新。高。○
 新。高。○。長。八。幡。文。○
 ○。た。の。方。が。一。町。に。り。○
 龜。野。山。觀。音。寺。と。梅
 如。龜。の。の。田。之。○。き

せ。川。村。○。石。田。た。の。釜。が
 淵。○。二。の。屋。○。山。里。村。山
 王。の。社。○。さ。る。小。寺。○
 の。ま。き。か。り。の。時。の。釜。○
 ○。河。の。う。ま。は。瓜。茄子
 多。く。出。る。○。車。越。村

駿河
 沼。津。一。里
 中。六。十。八。又
 二。百。十。七。又
 人。三。十。七。又

○。二。枝。摺。入。口。の。町。○
 川。の。中。の。町。は。水。が。江。鹿。へ
 七。里。船。も。多。く。舟。り。ん。一
 誌。荷。寄。掛。一。百。又。又。又。又
 又。中。又。道。を。し。て。又
 又。き。ぎ。も。西。風。の。外。岸。へ
 の。の。び。○。中。の。松。系
 寄。り。の。ま。き。た。の。方。の。昔。の
 代。を。切。ん。と。せ。○。一。町。之
 又。及。田。も。多。く。系。と。大
 方。村。つ。き。○。系。が。ま。ま。か
 ち。の。ま。ま。の。ま。ま。の。山。○

多。く。○。天。明。之。其。邦。の
 年。七。月。淺。間。山。焼。大。夏
 已。後。亦。に。燒。石。砂。の
 小。山。多。く。○。大。宿。○。か
 宿。村。○。大。釜。の。道。○

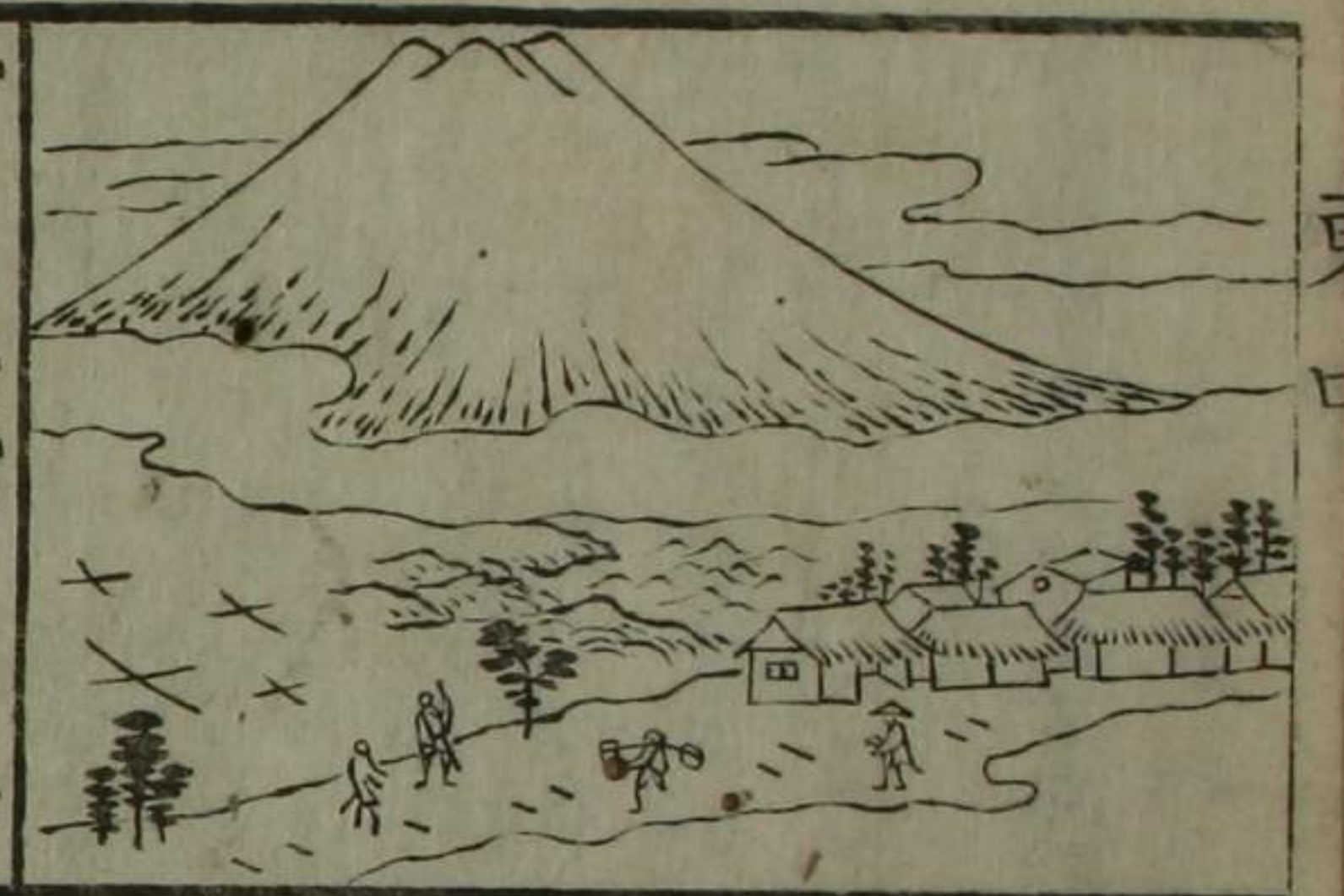
追。分。一。里
 中。六。十。九。又
 二。百。十。七。又
 人。三。十。七。又

け。亦。も。東。山。道。と。小。陸
 尾。の。追。分。あり。因。て。追
 分。高。さ。の。の。け。り。り
 小。山。海。及。小。法。の。か。の。城
 下。と。二。里。中。も。小。法。の
 松。の。塚。中。城。多。く。○。又
 せ。津。を。と。し。洗。る。者。も。出。る
 先。を。松。本。海。及。よ。の。女。○
 寺。○。若。り。小。法。の。か
 里。小。山。海。及。十。六。里。中
 之。○。追。分。が。越。後。高。田
 此。又。里。○。加。州。金。は。八。十
 一。里。○。平。岩。村。○。堀。系。村

岩。村。田。一。里
 中。六。十。七。又
 二。百。十。七。又
 人。三。十。七。又

和。田。味。坂。岩。村。田。と。家
 有。り

○。小。法。の。之。○。高。中。に。流
 多。く。是。を。八。日。と。こ。さ。び
 き。及。之。○。平。塚。村。○。小。塚
 村。○。釜。村。○。い。を。を。村
 日
 増。あ。の。二。十
 中。六。十。九。又
 二。百。十。七。又
 人。三。十。七。又
 小。法。の。之。○。ち。く。ま。川
 橋。も。出。る。○。又。海。後
 一。は。川。越。後。高。田



小まじり明神宮。大十
日。松永。今江。三
本松。大まじり。松永
まじり。松永。大まじり。松永

原。三。本百三十五
里。八十五
吉原。六丁。八十五

たよりき。鳴り。原。助
まじり。新田。柏原。松永
うま。松永。松永。松永
大。松永。松永。松永

○川井の。松永の。松永の
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

○富士の。白濁。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

宿を。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

新田。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

○松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

へ。松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

松永。松永。松永。松永
松永。松永。松永。松永

酒を〇入らぬ〇の茶。石草坂峠の茶屋に新茶をとり候。

石の方より石草坂峠に宿我兄弟の石草坂峠に宿をせしむる所と云ふ。宿に土川をわたりておしん十八丁〇岩間峠の宿。〇いふた左の岩間峠の宿。〇中のいふ池の宿。〇池川中へ宿をせしむる所と云ふ。浄土寺の墓石と云。〇義経の観水あり。〇三乃茶屋。

〇石草坂峠の茶屋に新茶をとり候。〇宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

浦系一
中井一里
宿のおんまおれたよわづれの宿。〇向田村。〇川田村。〇その〇中村。〇せりは。〇神代。〇せりはの神代。〇川田村。〇川田村。

長窪二
和国里
〇坂道谷川を是より和国里と云ふ所の宿。〇下の村。〇下の村。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

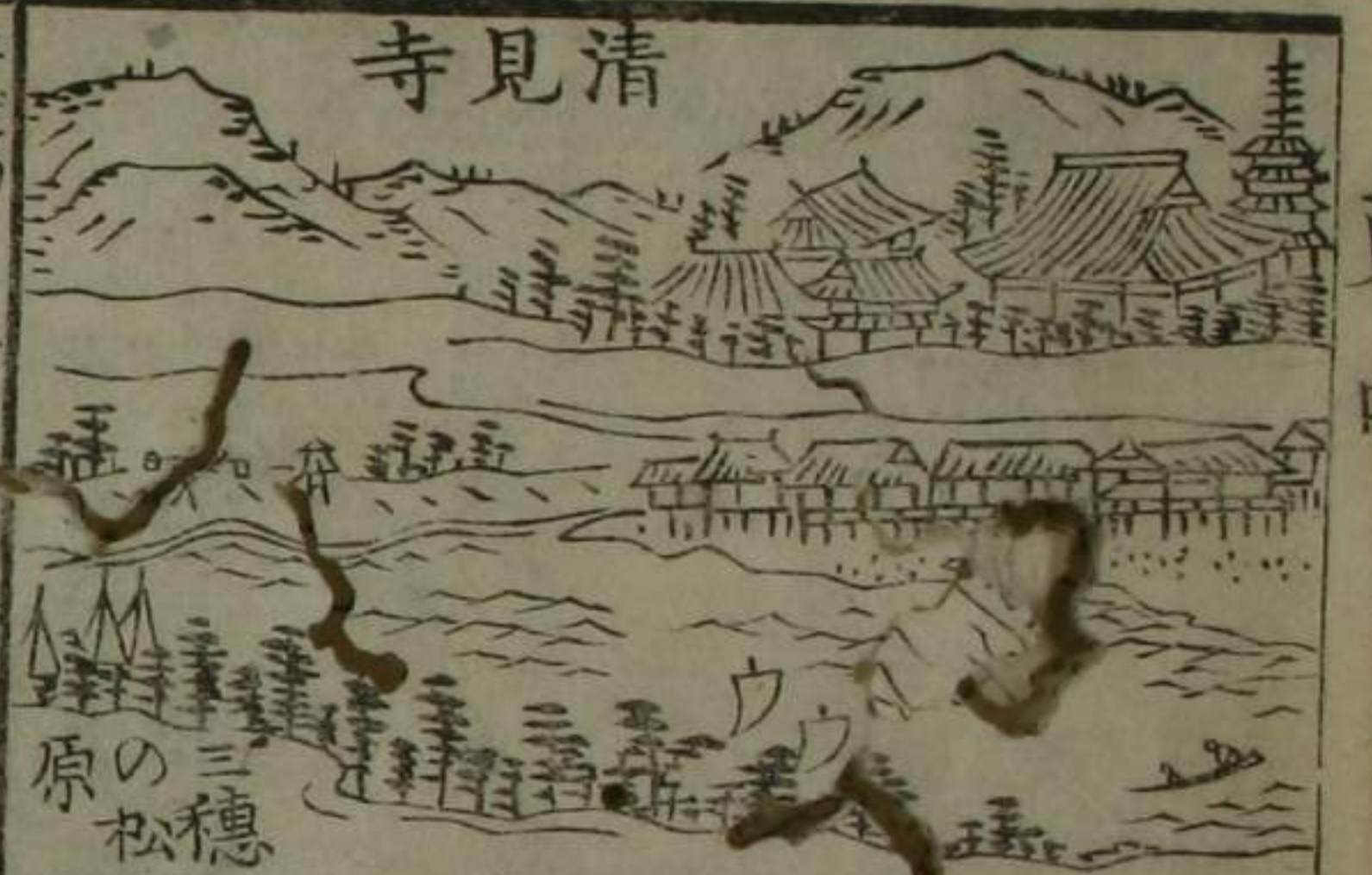
わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。

わづる
下す
〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。〇山坂及む宿の中。





清見寺

巨鷲山求王院と号す
序の後の雪舟の
筆のその氏の神影
宝物多し
七里の遠橋あり
の松系を眼あふ
其景のあやうび
小より河の横河
に新川のいづる川
渡り
河川に橋あり

二重 七百五十二
府中 丁 八十五
人 四百四十二

○ちと橋町中へもより
沼津へ舟まで川あり
お下りの清水町へも
ありけり
里
之橋の松系
町ヨ東へ
社あり
知れ
う池
南へ二里
構中
市内村
たの方
○梶原
と一里
系難

○高の入口の方
訪の社
○高を
訪の社
二里
新月
つめて湖
水
い
訪の社
たよ
ちか
牛伏寺
に村
の池

一里 七百五十二
洗馬 丁 八十五
人 四百四十二

○松
ハ松
が
○大
有
松
下
大
古
○松
の中
植
○松
つ
た
の

社々○小田村○吉田茶
 屋敷の山より年々
 法蓮の石を
 ○長沼○やの狐
 府中への入り口○河
 三松○法蓮の石を
 懐大社之府中へ久能
 海通る○福川○まかり

府中の一里
 中八十二文
 人四十二文

御城のたつ方○あり方
 浅間の社々南西一
 の宮へは
 ○府中の
 町終り之菟細工名物之
 ○宝臺院佛具屋あり
 ○阿比川から渡り銘紙
 子名物之はを生かせん

阿比川茶との水又阿比川
 の盆石出る○阿比川と
 又阿比川の源といふ名物
 ○自裁村昔社女ふも
 のまが川出る○は
 日
 まり二里
 中百廿文
 九十九文
 人四十二文

連宗師宗長が住せり
 寺々宝物
 ○夫の
 んごを賣る名物之○物と
 りりり十六丁之地後堂
 ○名物つきの細道
 中や白村○たん名○橋
 養村○大宮の系
 先ふ十石級
 まりこの名物
 とせ銭

○接次村橋りつきの
 中より東の松本はあり
 名を名物之橋法蓮
 の枕を名物本曾
 云○金沢坂なき橋
 ○かこひ村○名物
 ○まの村

熱川の一里
 中七十文
 人四十二文

○押込村やじ本曾
 招込る○すじ橋
 のたつ社坊の社々○
 平江村は名物

あつの一里
 中七十文
 九十九文
 人四十二文

橋あり
 ○本曾川を流す○や
 本曾川へ入る味吹川
 橋あり

救東の一里
 中七十文
 九十九文
 人四十二文

○宿ありつきの竹一切
 一と名物之是
 名物の名合と名物
 生るたる流定本曾
 流るる流き
 河へは山裏から木
 るいあを文出る名物

梅の葉茶すりのり
葉のころりしたる

日
名物の一里
菘枝の共
本百廿五文
七千文
人百廿五文

○名物川よりよと打石
の山村油貝といふけり
○八幡宮と○たな
田中城へつる○名物
水もやたのち境の淵と
○平造田中村の城のり
及○白子村もか菘枝
○名物

日
菘枝の二重
本百廿五文
七千文
人百廿五文

○田中の大町中の
たりと○たの方を
○名物
○名物
○名物

日
名物の一
本百廿五文
七千文
人百廿五文

○名物
○名物
○名物



名物川よりよと打石
の山村油貝といふけり
○八幡宮と○たな
田中城へつる○名物
水もやたのち境の淵と
○平造田中村の城のり
及○白子村もか菘枝
○名物

日
名物の腰の二里
福の白の共
本百廿五文
七千文
人百廿五文

○名物川よりよと打石
の山村油貝といふけり
○八幡宮と○たな
田中城へつる○名物
水もやたのち境の淵と
○平造田中村の城のり
及○白子村もか菘枝
○名物

日
福の二里
本百廿五文
七千文
人百廿五文



○名物川よりよと打石
の山村油貝といふけり
○八幡宮と○たな
田中城へつる○名物
水もやたのち境の淵と
○平造田中村の城のり
及○白子村もか菘枝
○名物

○川越の岡やま○計大井川の諸河を以ての境之海道東一の大河之河の漱定ては南風を以ては西風より少く水の上甲州を以て八軒や川越同屋を○金塚農人
 家少くはぬ

遠州
 金谷の二重
 中百十又
 九十九又
 七十九又

○日坂を以て山道之○す
 十の丁計のあめれ録名
 物之○矢の根からる○
 あめれんがく○さま
 の中山より坂十の丁お
 するにる○たの方之
 嶽山久延寺よむん人の
 くのり埋て○
 西の作

またきや又と西をい
 おりひきや命をり
 さきのの中

○まの彩田○店久保○
 事まの社の面一

日坂の二里
 中百十又
 九十九又
 七十九又

○細坂を以て山道之○す
 ○霞の村○登田
 八幡の社○たよゆ
 一からゆめく一からゆめ
 一から基石出○橋井
 川○ぬめり川○まじ村
 ○大徳寺○中橋をよ
 一からゆめく一からゆめ
 川村○敷竹村○るく
 ろく町○まじ

○南村○本村○松野
 ○大野○小野

福徳の二里す小坂細
 之たのせがはを以て山
 生あり○本をのり
 一西方を垣敷十間つ
 きあけて掛る板を
 昔の山と小かけの橋
 てあやうに後今のに
 とるれと立石曰

此石垣安元成子年
 六月良辰成就焉畢
 とるれ

河げ松の三
 里
 中百十又
 九十九又
 七十九又

○中法村とりの社
 阿志松の松あり○二
 村○福を村入り
 の方畠の中細通
 ○深見山臨泉寺と云
 ちりり下を



○南村○本村○松野
 ○大野○小野

○大の方より城まで○舊
 布多物之○あまのよ
 尾池村へは橋をたか
 秋葉山園来寺のつら
 道よりよまをりて

掛川三	森町一	市のせり	子なるり	成支二	秋葉寺	石打二	くまのり	太平一	大のり	鳳来寺	羽城三	大木二	油東海
-----	-----	------	------	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----



かこ村○は田村○細田
 村○細川橋○させ川○
 せ川○けをさるるを織
 ○くつ村○あや

袋井 一 中百九
 見付 一 中百九

右の方十八丁にて可睡
 と云寺の駿幸三曹洞
 宗の惣領之○川安村○
 本系村○西崎町右の方
 石安村はよれおの
 故のりる二羽をり
 記しるる金の九年号
 坂への通る○さの村○
 大久保○さか松○さ
 の産○澤をさるる

見付 一 中百九
 清松 一 中百九

系をりる人安めて初
 富士山をさるる
 入付とらる○町中社
 の言る○境松たは後

清原 一 中百九
 野原 一 中百九

○林村○大崎村○戸
 村○長村○弓矢村
 坂あり○関山○く
 つて坂あり

野原 二 中百九
 野原 一 中百九

高のいりる坂あり
 ○名産屋敷○荒
 田村○下在坂村○志
 あま飯○十二ヶ根村○
 ねら村○中が○踏
 け○だんこのに○よ
 かと○かあちよ○ま
 きはじだま坂○け
 と山坂野あり

みとの 一 中百九
 清原 一 中百九

あまをいりる宿をい
 橋を○お清は○濃村
 ○のしら○和合村は
 河は○おげらふ
 名りる○甲観音○
 ど○さまが原○さ
 岩○本名の坂あり

妻籠 二 中百九
 馬籠 一 中百九

尾吉をいりる本をい
 竹をいりる大竹敷
 ○せのさるる越の
 おり村○さるる
 ○大崎村○さるる
 里塚村○さるる坂あり
 谷にさるる○白木の
 尾州の坂あり○さるる



見付宿

〇大井の浦
 〇又た二里
 〇中泉の浦
 〇大井の社
 〇大井院
 〇大井村
 〇大井の二里
 〇大井の池田
 〇大井の吉成
 〇大井の天
 〇大井の二里

〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里

〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里

〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里

〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里

〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里

〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里
 〇大井の二里

佐細江と名あり

同 舟のきり
舟のきり
舟のきり
舟のきり
舟のきり

昔ハナハシ清名の橋

明應八年大地震
湖と海と

今切と云又永正七年
山奥の螺貝の如けて出

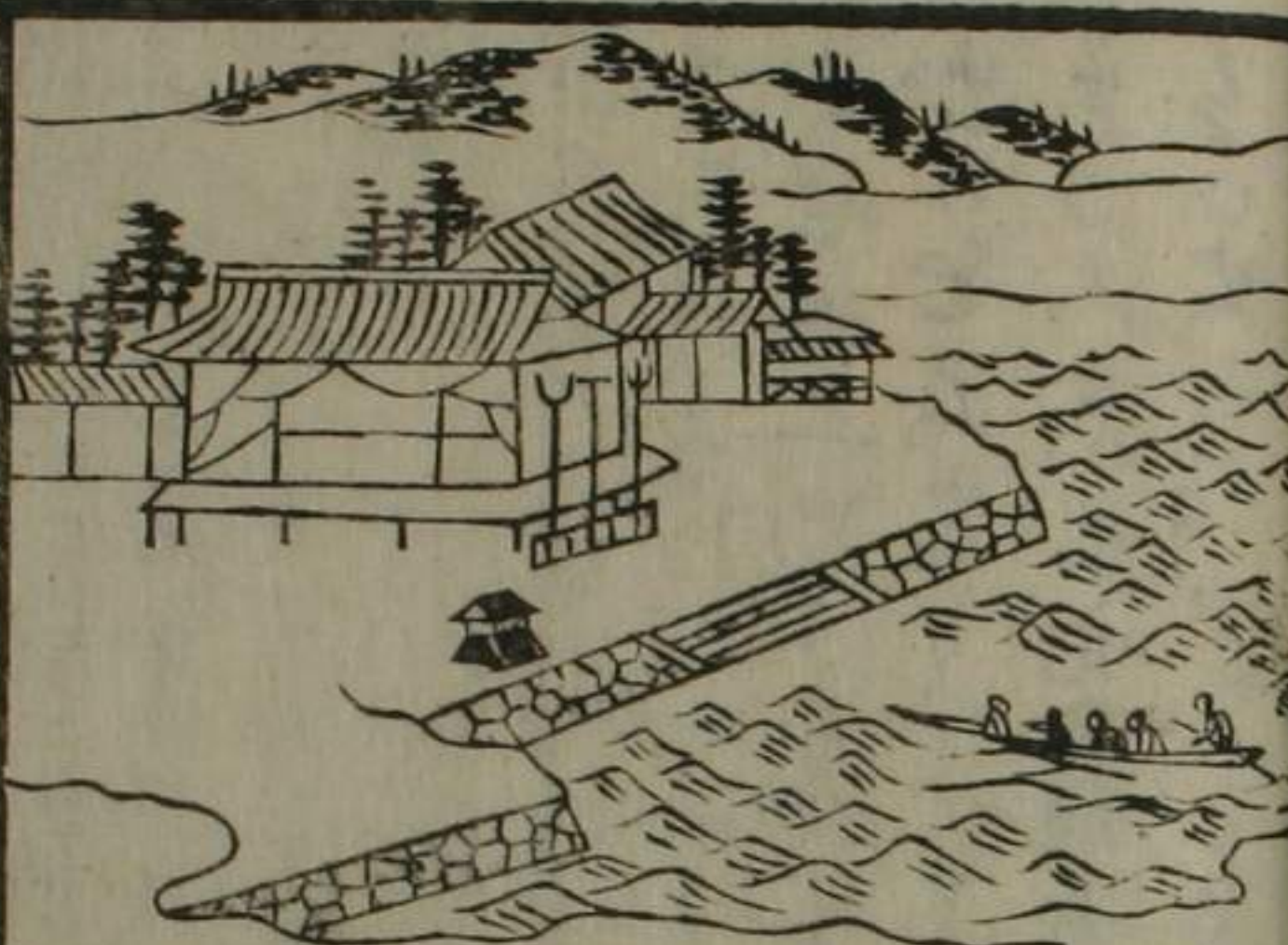
其は油と名をとり
元禄年中津浪をて海

とあり一里あり風波あり

き時ハ波船難儀たり
公方殿方抗まき地籠

在せり其中津波船
さし入船中ハ中も有

白すり 一里 舟七十文
舟七十文 舟七十文



山中ありて女武具山改

あり○老よ清名の橋の

納豆出○一の新田

○元白次聖地を坂地

義堂と峠を壱州洋

舟のきり

二つひて川水を二筋小

流きて中野村のうら

全村○江戸ふ名まき屋

通伊勢系宮の人を

かわりくもは○みくれ

込○はら谷○ふかや村

新道坂○出茶屋○大

と○かみの本坂○山神

坂○お坂○大舟かま

ととのる十二時といふ

大坂もまき

大く一里 舟七十文

細久一里 舟七十文

山中より名自由坂

宿○びら坂○琵琶

津○なる岩○あり

岩とて二つ大岩と○

やせ村○可なま

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

舟のきり

一目よりの名二里
かたがは

白河 一里 中百七文
あさ川 丁 八千文

○山宿元は城を坂の下
申は波入其の後にふ
移る。猿もる湯茶を
移る。猿もる湯茶を
移る。猿もる湯茶を
移る。猿もる湯茶を

二川 一里 中百七文
吉田 二丁 八千文

け不昔の大岩か
て二宿ありし
よせ二川と云今
出はを大岩といふ
先○大岩岩穴の観音
ら○大岩岩穴の観音

吉田 二里 中百十八文
吉田 丁 八千文

たよ城をけ城を
門と長條の道の
門と長條の道の

○大橋を白土間を
よのけ川が傍の白
あまのけ川が傍の白
あまのけ川が傍の白
あまのけ川が傍の白

○小ざり舟八幡
町茶屋を○か
後のいまの村を
諸町○國
府あり酒名物
寺は出はかこ

○合渡○関を
鬼の首塚を
よの平の塚を
岩○桶を
から回二里○金山
里○岩を二里

伏見 二里 中百七文
吉田 一里 八千文

あまのけ川を
渡村○名吉屋大
道○吉田村○吉
舟をし之○吉田
河川と名合あり

吉田 二里 中百十八文
吉田 丁 八千文

吉田 一里 中百七文
吉田 丁 八千文

昔より銀治
さうり村○名
勝山村け竹の名物
旗竿指物等あり
つる○観音坂を
置を大難をけ
つる○観音坂を
つる○観音坂を

宿の中の方
の城を
三里の方
丹後を
一里を
たのけ舟を
加納を町つ

○小ざり舟八幡
町茶屋を○か
後のいまの村を
諸町○國
府あり酒名物
寺は出はかこ

て中坂と風車寺と牛
とていふ所をいふ
ま村○二百里

日 油が 十 本廿七文
赤坂 丁 十丁 人十丁文

赤坂が二里 本百七文
赤川九丁 人百七文

○茶の系○桐の系○
○山中の系○麻の系○
○袋早繩を賣○まの系○
村八幡の社と

日 赤坂が 一里 本廿七文
赤坂 丁 十丁 人十丁文

○たよきと赤尾の系
○たよきと赤尾の系
○たよきと赤尾の系
○たよきと赤尾の系

たよきと赤尾の系
たよきと赤尾の系
たよきと赤尾の系
たよきと赤尾の系

○うぬまがきと一里○
○うぬまがきと一里○
○うぬまがきと一里○
○うぬまがきと一里○

日 加納が 一里 本廿七文
合渡 丁 十丁 人十丁文

○たの方子城と○中
○たの方子城と○中
○たの方子城と○中
○たの方子城と○中

日 赤坂が 二里 本廿七文
赤坂 丁 十丁 人十丁文

○たよきと赤尾の系
○たよきと赤尾の系
○たよきと赤尾の系
○たよきと赤尾の系

たよきと赤尾の系
たよきと赤尾の系
たよきと赤尾の系
たよきと赤尾の系

山寺と云ふは八幡宮と
 佛代御氏神といふ。西尾
 の城より二里。町の北に
 小松葉川と橋の長廿二
 里大橋が所の町を八丁
 とす。矢張り橋廿二里
 八百海通第一の道に。東
 ぞとれた茶屋を。西ぞと
 十五堂とい堂よりとて
 西ぞ人の道に。これと
 ○うと小坂と云ふは
 あり約道より大徳茶や
 らあんの名物也。今村茶
 屋より東連寺村入る八
 丁橋の初より八丁約て八
 丁橋の終り。牛田村。ら
 して大井田月夜。又月
 夜よりとて市を。又
 やうとてとて市を。又
 不



○喜井が原の
 徳坂物元の松。中
 仙及追分大垣。あ
 い川からわたり
 垂井の二里
 人三十五
 宿が西南に南宮山
 二里中。い宿が越え
 宿が福井へ二里。

池鯉鮒 二里中廿七
 ありとて十
 ありとて十

加賀の合の
 寺。尾州宮へ十六里
 京都へ廿四里。廿丁。中
 上の里名。あ。雞籠山
 斑女。あ。左

○たふかりやの城
 ○池鏡の流る。城坊乃
 神社より。い。他。里
 謝より。い。ま。川。橋
 八町。あ。い。ち。猿。投
 神社の社。一。里。山。村。
 今。尾。村。茶。屋。を。い。川
 と。あ。め。ん。し。ら。中。之
 ○揚。川。尾。州。三。州。の。さ。う。の。之
 橋。を。尾。州。の。方。の。さ。う。の。橋
 三。州。の。方。へ。上。登。之。て。ん。が
 く。が。の。桶。を。ま。今。川
 今。村。け。不。六。月。朝。日。の。朝
 米。出。る。い。川。の。名。吉。屋
 の。城。邊。よ。り。の。あ。の。あ。の
 付。れ。し。野。の。う。ら。も
 三。の。の。合。村。の。さ。う

関が原 一
 今すへ里
 人廿七
 人廿七

○たふかりやの城
 ○池鏡の流る。城坊乃
 神社より。い。他。里
 謝より。い。ま。川。橋
 八町。あ。い。ち。猿。投
 神社の社。一。里。山。村。
 今。尾。村。茶。屋。を。い。川
 と。あ。め。ん。し。ら。中。之
 ○揚。川。尾。州。三。州。の。さ。う。の。之
 橋。を。尾。州。の。方。の。さ。う。の。橋
 三。州。の。方。へ。上。登。之。て。ん。が
 く。が。の。桶。を。ま。今。川
 今。村。け。不。六。月。朝。日。の。朝
 米。出。る。い。川。の。名。吉。屋
 の。城。邊。よ。り。の。あ。の。あ。の
 付。れ。し。野。の。う。ら。も
 三。の。の。合。村。の。さ。う

今すへ里 一
 人廿七
 人廿七

○たふかりやの城
 ○池鏡の流る。城坊乃
 神社より。い。他。里
 謝より。い。ま。川。橋
 八町。あ。い。ち。猿。投
 神社の社。一。里。山。村。
 今。尾。村。茶。屋。を。い。川
 と。あ。め。ん。し。ら。中。之
 ○揚。川。尾。州。三。州。の。さ。う。の。之
 橋。を。尾。州。の。方。の。さ。う。の。橋
 三。州。の。方。へ。上。登。之。て。ん。が
 く。が。の。桶。を。ま。今。川
 今。村。け。不。六。月。朝。日。の。朝
 米。出。る。い。川。の。名。吉。屋
 の。城。邊。よ。り。の。あ。の。あ。の
 付。れ。し。野。の。う。ら。も
 三。の。の。合。村。の。さ。う

宿あり。山坂谷道
 今すへ里 一
 人廿七
 人廿七

津の志をり本郷の
風俗をきき海へ賣る
世よりみきりといふ
○乃此君池鯉鮒の種
行あり

尾州
鳴海 一里 中六丁
さあ 一丁 中六丁

宿中に鳴海神社といふ
昔の海をゆき鳴海
を世集せしは後今の
は集と成たの方漢也
海士の塩屋と昔は
海士の鹽と云ふ名
番出といふをよひ
月の漢と云ふ里の
城の村をのり
の里は海と云ふ
習州の海を蔵する
○天白橋をよ天の
まはるる村をよ

○今す海へ車道
海と云ふの境
海よち橋と移物
はとりのけり
中に居境を移物

日
拍系 一里 中六丁
さあ 一丁 中六丁

西方谷合へ
○樟村あり
あま川といふ
いとけ川をよ

日
醒弁 一里 中六丁
ぐんと 一里 中六丁

宿の内よ
○さあ
高のたの方よ
津井川橋を
通は村あり

日
中野場 一里 中六丁
香井中 一丁 中六丁

宿あり
○みか
好景
景色

日
招針 一里 中六丁
さあ 一丁 中六丁



日
三宮 一里 中六丁
東 一丁 中六丁

○た小名古屋の
○仙人塚むじ仙人
○山崎村橋をよ湯浴
地蔵
○た小名古屋の
○仙人塚むじ仙人
○山崎村橋をよ湯浴
地蔵

依在廻乃 未分入して野へ

官 二里 のまき

岩橋 半里 ○依在せり

万場 九丁半 せんきふ官か

冠守 一丁九 粟名の毎え

依在 三里 まよとまじく

粟名 死ス入るすだ

尾州宮



七里の渡出帆

伊勢 桑名 三 本百廿又

尾州市 八丁 人廿又

竹生 崎又 ありま後し

五里とりのみ 又外 奥の

崎竹崎 又 あり山と 湖

ありま せし出さる 山と 崎の

如し あり針 小指 針

より 小まぬ あり 川橋

ら けり あり 國 満 通 ち

尾州市 二 本百廿又

桑名 里 人廿又

先か 桑名 一里 〇多賀

の社 一里 多賀 あり

あり 光丁 〇小指 村 小指

の細 桑名 あり 小町 〇桑

〇桑 村 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

〇桑 〇桑 〇桑 〇桑

舟子茶海と十里へ。大
小坂坊の社。○信田村
四日市の出。○志保
村。○神子。○神子。○神子。

○日永村。○さき。○村。○村。
紀州。○追分。○なま。○新。○

の通。○妻。○ま。○元。
四日市。○小。○許。○村。○

神子。○半。○小。○教。○村。○
白子。○半。○村。○田。○中。○村。○

上野。○半。○采。○女。○村。○枝。○
津。○二。○里。○坂。○村。○

松坂。○四。○里。○村。○小。○谷。○村。○
お。○ご。○一。○里。○大。○谷。○村。○

山田。○一。○里。○村。○神。○子。○白。○子。○
内。○宮。○

不。○茶。○師。○七。○
庄。○野。○一。○丁。○

庄。○野。○二。○
龜。○山。○一。○里。○

○東。○富。○田。○西。○福。○寺。○と。○牛。○
丸。○の。○鞭。○楼。○と。○の。○名。○本。○

○桂。○村。○と。○あ。○だ。○町。○と。○あ。○
は。○不。○子。○鏡。○米。○を。○小。○さ。○記。○依。○

○東。○富。○田。○の。○泉。○
川。○の。○橋。○七。○の。○の。○鹿。○

○油。○善。○寺。○村。○川。○谷。○村。○
道。○と。○神。○戸。○へ。○二。○里。○白。○

音。○札。○石。○の。○老。○老。○
高。○老。○老。○の。○老。○の。○

武。○法。○三。○
山。○一。○里。○

の。○宿。○馬。○道。○具。○多。○
の。○方。○安。○太。○村。○八。○村。○

付。○田。○村。○每。○右。○村。○
湖。○村。○砂。○川。○の。○後。○

鏡。○山。○
山。○上。○三。○

○形。○子。○村。○橋。○関。○川。○
○東。○横。○関。○橋。○せ。○き。○

水。○口。○道。○と。○名。○光。○寺。○川。○
鏡。○の。○橋。○と。○の。○と。○

鏡。○山。○大。○伴。○黒。○
鏡。○山。○と。○ま。○ま。○り。○

○鏡。○山。○村。○茶。○屋。○と。○大。○橋。○
○志。○の。○原。○堤。○と。○の。○む。○

川。○の。○計。○船。○小。○谷。○原。○村。○
湖。○村。○と。○川。○の。○わ。○り。○

守。○山。○一。○
山。○一。○里。○

石。○橋。○の。○東。○の。○村。○
之。○の。○高。○馬。○道。○具。○多。○

○守。○山。○川。○今。○右。○村。○
○名。○金。○堂。○村。○と。○田。○村。○
○石。○屋。○村。○と。○茶。○屋。○



針村○大かくちのあり
十八丁あり関川○小野村
関の入口より系分系分海
道あり 馬老光廣

関 二里 龜山をせま
むかニリ におひてあり

津 二里 けきふ甲を
あそむせ

山田 山田より東海
及く出づるも

松坂四里 けき通より
くへあり

関 一里 本庄より
坂の下 二丁人田子文

能者之昔 鹿麻の関
左一河之火繩名物あり

○宿のたよ地 鹿堂と
大地之者の出とあり

○津のせ村○ちよ
山○ちよ村○鹿老と
能と名物と

坂の下 二丁二百文
古山 一丁二百文

宿の肉よ小橋 二丁あり
町分坂との名なる

廉川をるる○於鹿坂
八丁けりき坂之鹿

明神の社ら 鹿の茶
倉と伊勢と色江の坂

之をよ田村堂より○三
子山○徳のよ茶を

るいのよ茶とあり
坂之蟹が坂といふ○田

村川昔のち安永
を中より橋あり○く村

古山 二里 本百文
水口 七丁 八十五文

古山 二里 本百文
水口 七丁 八十五文

滋川村○鹿野村草
津川○茶の丸の辻

草津 二里 本百文
大津 一里 八十五文

是が東海通之○たよ
夫とせ道通あり

舟場とた丁角に
姥が餅茶屋と夫を

せふ大津一里あり
色江八景徳系之湖あり

南十九里西東八五里
琵琶の形もあり

よびとあり

○迎江八景
比良暮雪 矢橋歸帆

石山 秋月 勢多夕照
三井 晚鐘 堅田落雁

栗津 晴嵐 辛崎夜雨



わたり一里より南を流るる
 もろの川田よりわたり
 唐し琵琶の形を似
 とくびし湖といふ。松
 本村を過ぎる所の流はこ
 の石場といふ。わたり矢を
 せの渡船の島すくす
 あり

日
大津 三本百十文
 京 一里 二百十文
 八丁坂 五文

つわりの川も東國の船
 着の湊をへて流るる
 ○これのけたくはけい三井
 あり。八丁坂をたの方に
 関寺は関の清水。
 あら坂の山神丸の四辺。
 大谷八町針十路。鐵
 又仙馬三形の画を賣
 大津と山崎の坂あり

さつり井り。○大津がさ
 たらははさ場。○長町
 ○追分の方丈。○高尾
 ○あり。○六地。○岩堂。○光
 ○山科の肉之。○十福原村。
 ○はら村。○粟田口。○こま
 が畑。○ころ。○田の長。○なま
 仕並場。○是田の長味
 之。○より。○あけけの
 水。○高尾。○光。○粟田
 口。○げ。○な。○あ。○ま。○つ。
 寺。○た。○ま。○あ。○ま。○か。○峰
 ○御軍塚。○吉田。○白河
 南福。○吉。○谷。○宮。○御堂
 百萬遍。○加。○茂。○の。○通
 ○た。○の。○方。○ま。○道。○院。○つ
 法。○白。○川。○橋。○の。○寺。○の。○ま。○り
 南。○知。○急。○院。○祇。○園。○法。○水
 寺。○の。○新。○及。○三。○の。○二。○條。○大
 橋。○の。○二。○條。○の。○河。○城。○へ
 十。○五。○丁。○の。○大。○和。○久。○河

大田川 八丁	大和久 十丁	新田 十丁	矢吹 廿三丁	笠石 百半	須賀川 百半	笹川 十八丁	出の山 八丁	おの山 十五丁	郡山 廿五丁	福原 廿三丁	高倉 十七丁	木宮 十五丁	杉田 十丁	二条松 十丁
本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九	本 九十九

系下等最左の四條五條の橋東山其外河津津加尾不田迄もくたつての物有べし



本坂越 元賃銭

見附の三里 本二百三十五 〆百四十五

加人なる里 本二百三十五 〆百四十五

氣賀の三里 本二百三十五 〆百四十五

三田市 本二百三十五 〆百四十五

吹上 本二百三十五 〆百四十五

吹上 本二百三十五 〆百四十五

吹上 本二百三十五 〆百四十五

宮分佐屋廻り記

宮分 本二百三十五 〆百四十五

山吹 本二百三十五 〆百四十五

宮分 本二百三十五 〆百四十五

冠守 本二百三十五 〆百四十五

冠守 本二百三十五 〆百四十五

二本松合	油井	二本柳	二本柳	八町の目	若宮	福嶋	津の目	栗折	飯田	飯田	越前	新川	泊	葛田	金ヶ渚	大河
本四十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五

舟迫	概木	岩	倍田	中田	長町	仙臺	七北田	新町	吉岡	三本木	古川	あしや	荒屋	高清水	月立	宮野	沢辺
本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五	本三十五

下砂子村あきな村下田川

冠守二里 本町千七又

つ市村あきな川橋下柳村

川松三里

兼合一人あ 拾七又

二水主一艘八条 二百七十三又

三水主同十五人条 四百十九又

四水主同六人条 六百七十七又

五水主同五五条 八百十九又

六水主同五八条 九百七十七又

兼合一人あ 拾九又

二水主一艘八条 四百七十一又

三水主同五八条 六百七十七又

四水主同六八条 七百七十八又

五水主同五八条 九百七十七又

六水主同五八条 九百七十七又

兼合一人あ 拾九又

二水主一艘八条 四百七十一又

三水主同五八条 六百七十七又

四水主同六八条 七百七十八又

五水主同五八条 九百七十七又

六水主同五八条 九百七十七又

兼合一人あ 拾九又

宮の業名と渡海七里

金成六丁	有壁三丁	一の関三丁	山の目三丁	前沢三丁	水沢三丁	金山三丁	鬼ヶ原三丁	鬼柳三丁	黒沢三丁	花巻三丁	石巻三丁	郡山三丁	南部盛岡三丁	沼宮内三丁	一の戸三丁	福岡七丁	金田市七丁
本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又

松前七三三

兼合一人あ 拾九又

二水主一艘八条 四百七十一又

三水主同五八条 六百七十七又

四水主同六八条 七百七十八又

五水主同五八条 九百七十七又

六水主同五八条 九百七十七又

兼合一人あ 拾九又

二水主一艘八条 四百七十一又

三水主同五八条 六百七十七又

四水主同六八条 七百七十八又

五水主同五八条 九百七十七又

六水主同五八条 九百七十七又

金田市三丁	三の戸三丁	麻吹三丁	五の戸三丁	傳方寺三丁	七の戸三丁	七の戸三丁	野辺地三丁	小湊三丁	野内三丁	青盛三丁	大濱三丁	蓬田三丁	蟹田三丁	平倉三丁	今別三丁	三前七三三
本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又	本町千七又

松前七三三

同之が二 九百三十支
 同之が一 四百八十支
 同之の二 六百八十支
 同之が三 三百七十支
 同之が四 二百九十支
 同之が五 二百四十支
 同之が六 二百三十支
 同之が七 二百二十支
 同之が八 二百十支
 同之が九 一百九十支
 同之が十 一百八十支
 同之が十一 一百七十支
 同之が十二 一百六十支
 同之が十三 一百五十支
 同之が十四 一百四十支
 同之が十五 一百三十支
 同之が十六 一百二十支
 同之が十七 一百十支
 同之が十八 九十支
 同之が十九 八十支
 同之が二十 七十支
 同之が二十一 六十支
 同之が二十二 五十支
 同之が二十三 四十支
 同之が二十四 三十支
 同之が二十五 二十支
 同之が二十六 十支

野邊地 佐井通
 有 戸四
 横 濱
 中津川
 田名部
 大川
 下川
 異国
 大川
 大川
 奥戸
 佐井
 箱館

大坂長崎道 伊勢田丸越

大坂	三ノ	山田	一ノ半	瀬の上	白川
尼ヶ崎	二ノ	田丸	二ノ	米沢道	會津道
西の宮	五ノ	あめが	二ノ半	米沢	見代
兵庫	五ノ	はる	一ノ半	米沢	福良
明石	五ノ	大石	一ノ半	庄内道	赤津
姫路	五ノ	みんぎ	二ノ	米沢	見代
姫路	五ノ	たけ	二ノ	米沢	見代
姫路	五ノ	たけ	二ノ	米沢	見代
姫路	五ノ	たけ	二ノ	米沢	見代
姫路	五ノ	たけ	二ノ	米沢	見代
姫路	五ノ	たけ	二ノ	米沢	見代

三月八日	花原	半	赤湯	會津
伊取島	九ノ	花原	半	會津
作洲津山	九ノ	花原	半	會津
津山	九ノ	花原	半	會津
津山	九ノ	花原	半	會津
正所	十八丁	山久	一ノ半	會津
かし島	三ノ	田口	三ノ	會津
三ツ石	二ノ	くせ	一ノ半	會津
片上	四ノ	くせ	一ノ半	會津
菰井	二ノ	丹波市	二ノ	會津
岡山	二ノ	帯とぎ	一ノ	會津
板倉	三ノ	奈良	一ノ	會津
川邊	三ノ	大坂	五ノ	會津
矢あけ	三ノ	大坂	五ノ	會津
七日市	十二	伊勢大和	廻り	會津
高屋	十七	奈良高野	道	會津
神苗	四ノ	山田	一ノ	會津
今津	二ノ	山田	一ノ	會津
小野道	三ノ	くせ	二ノ	會津
見子	半	松坂	一ノ	會津
ぬす	半	松坂	一ノ	會津
全市	二ノ	月本	二ノ	會津
全市	二ノ	月本	二ノ	會津

さいま	五ノ半	むさし	四ノ	鶴岡	米倉
かひ	ニノ	あまの	ニノ	栗折	一ノ
廣島	津	山田	ニノ	秋田道	加持
此所より		上野	カニ	栗折	中条
官島	四ノ	島河原	一ノ半	小坂	黒川
草津	ニノ	大河原	一ノ半	上原	平林
廿日市	四ノ	かさた	ニノ	下戸	庄内
くま	三ノ	かも	ニノ	瀬木	本庄道
せきと	四ノ	奈良	一ノ	あま	島田
此間三岩国道		帯	一ノ	峠田	飯島
くま	半ノ	市	一ノ	湯原	新川
高	ニノ	丹波市	一ノ	橋下	酒田
今市	ニノ	柳本	一ノ	上の山	吹浦
窪田	六ノ	三輪神社	一ノ	松原	女鹿
花岡	半ノ	慈恩寺	一ノ	山形	小砂川
徳山	半ノ	観音	一ノ半	天童	塩越
富田	六ノ	あま	一ノ	六田	象河
あま	ニノ	あす	十ノ	飯田	金浦
宮市	四ノ	岡寺	ニノ	林田	平沢
此所より		小坂	五十ノ	尾花	本庄
長門	十ノ	多武峰	ニノ	柳沢	秋田
山中	二ノ	上市	一ノ	舟方	津軽道
舟木	一ノ	舟木	一ノ	清水	久保田

よ	一ノ	と	八ノ	新庄	蛇川
小月	ニノ	と	五十ノ	金山	大川
長府	ニノ	つ	十八ノ	院内	森岡
下の関	三ノ	天の川	九ノ	横堀	檜山
小倉	三ノ	高野山	五十ノ	湯次	鶴形
此所より		く	ニノ	横	飛根
中津	十三ノ	か	一ノ	金沢	荷上
小倉	三ノ	か	二ノ	六	小
ひや	通	き	二ノ	大	前
小倉	三ノ	三日市	二ノ	花	今
飯塚	三ノ	い	二ノ	御	房
内野	二ノ	あ	一ノ	和	大
山上	九ノ	も	一ノ	坂	大
原田	二ノ	大坂	三ノ	戸	大
田代	二ノ	大津	大坂道	久	大
此田代	三ノ	大津	四ノ	保	大
の通	出	伏見	五十ノ	田	大
小倉	六ノ	淀	三ノ	千	住
あ	十四ノ	大坂	五ノ	新	宿
さい	一ノ	大坂	一ノ	松	戸
い	二ノ	伏見	大坂下船	小	金
				あ	び

舟中

三十三

大久保	三丁	伏見	十三丁	取手	二丁
せんじも	一丁	大坂	一丁	若代	二丁
此間	一丁	大坂京上り舟同	一丁	牛久	二丁
秋月	二丁	大坂	三丁	荒川	二丁
野町	一丁	大坂	三丁	中村	一丁
松崎	一丁	大坂	三丁	土浦	一丁
此所	一丁	石津	三丁	中	一丁
久留米	一丁	岸留	半丁	府中	一丁
此所	一丁	貝塚	二丁	竹原	一丁
柳川	一丁	信達	三丁	片倉	二丁
熊本	十六丁	山中	一丁	長岡	二丁
田代	一丁	山口	二丁	水戸	一丁
此所	一丁	和山	二丁	新田	二丁
中丸	二丁	紀州	一丁	額田	一丁
かみ	一丁	若山	二丁	太田	一丁
さ	一丁	紀州	一丁	町家	一丁
牛津	一丁	紀州	一丁	川原	一丁
小田	一丁	おろ	二丁	折	一丁
成瀬	一丁	志	二丁	大中	一丁
塩田	一丁	高野山	五十丁	小中	一丁
嬉野	一丁	此所	一丁		
その木	一丁				
松原	一丁				

大村	三丁	日本橋	二丁	富山	一丁
矢上	一丁	品川	二丁	日本橋	二丁
長崎	二丁	川	二丁	四谷	二丁
大坂	十丁	程	一丁	下高	二丁
兵庫	五丁	戸塚	一丁	布田	一丁
明石	十丁	菟	一丁	府中	一丁
室	五丁	江の	一丁	日野	一丁
大	五丁	後倉	一丁	八王子	一丁
牛	七丁	大山系	一丁	駒木野	一丁
ひ	三丁	菟	一丁	小原	一丁
志	七丁	一	一丁	小原	一丁
白石	三丁	田村	二丁	上野原	一丁
靱	五丁	い	一丁	つ	一丁
也	十丁	子	一丁	の	一丁
三	五丁	大	一丁	犬	一丁
津	八丁	房	一丁	上	一丁
上の	五丁	行	一丁	大	一丁
室	五丁	舟	一丁	大	一丁
む	五丁	馬	一丁	大	一丁
		寒	一丁	大	一丁

下の関 三リ

○下の関を三里三丁に御本名方六里まで船はよるが故に

小倉 三丁

此所より福岡道

小倉 二里丁

黒崎 二里半

赤間 二リ

河内 二リ

青柳 三六丁

箱崎 六三丁

博田 一リ

福岡

黒崎 二里半

このせ 四リ

飯塚 三リ

内野 二九丁

山上 一リ九

原田 二リ

田代

肥前名子屋

對馬朝鮮里數

名子屋 海路五リ

勝本 四丁

對馬 四十八リ

朝鮮國

大坂より金山浦迄

凡三百七十里

天氣快晴ノ日ニ

對州朝鮮里數

見ルト云

野田 二リ

千葉 二リ

五井 一リ

高師 二半

白野 一リ

黒野田 一リ

下花崎 一リ五丁

下初 一リ

高師 二半

一宮 二半

流山 一リ

長南 二リ

大多喜 一リ

今富 二リ

茅や 一リ

久留里 一リ

上野 二半

小湊 一リ

内浦 一リ

天津 五リ

乙濱

那胡 一リ

館山 一リ半

北条 一リ

府中 二リ

大房 二リ

勝山 二リ

保田 一リ

金谷 一リ

百首 二リ

上吉田

富士山

下花崎 一リ五丁

下初 一リ

黒野田 一リ

石和 一リ九丁

甲府 一リ

羽木井 五リ半

身延山 一リ

南部 三リ

万沢 四リ

松の 二リ

岩淵 東海道

又分延よりおろす早ふた川のほとり十三里一時半からあつた

息柄 一リ

日本橋 三リ

行徳 一リ

八幡 一リ

金谷 二リ

白井 二リ

潮来 一リ

鹿島 九リ

香取 一リ

息柄 一リ

銚子 一リ

安食 四リ

神崎 二リ

津宮 三リ

香取 神社

小見川 二リ

佐々川 二リ

野田 二リ

千葉 二リ

五井 一リ

高師 二半

白野 一リ

黒野田 一リ

下花崎 一リ五丁

下初 一リ

高師 二半

一宮 二半

流山 一リ

長南 二リ

大多喜 一リ

今富 二リ

茅や 一リ

久留里 一リ

上野 二半

小湊 一リ

内浦 一リ

天津 五リ

乙濱

那胡 一リ

館山 一リ半

北条 一リ

府中 二リ

大房 二リ

勝山 二リ

保田 一リ

金谷 一リ

百首 二リ

東海道割増附 左大宿割増 残宿割増

五割増 本馬 輕尻 人足

平塚 三十一丁 二丁又光七丁又

大坂 三十三丁又八丁又三十九丁又

小原 三十三丁又八丁又三十九丁又

中仙道 當時割増五分増

守山 五割半増

日光道中 當時割増五分増

甲州道中 當時割増五分増

石橋 雀の宮 四割半増

坂東大良利根此所

より東海は八川北洲神

常陸川を二里

奥州道中 當時割増五分増

箱根 七百五文 四百五文 三百五文
下三夏 下三夏 下三夏

三嶋 六百五文 六百五文 六百五文
六百五文 六百五文 六百五文

吉原 二百五文 二百五文 二百五文
二百五文 二百五文 二百五文

蒲原 六百五文 四百五文 三百五文
六百五文 四百五文 三百五文

日坂 五百五文 九十五文 七十五文
五百五文 九十五文 七十五文

袋井 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

舞坂 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

新居 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

二川 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

赤坂 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

葦川 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

庄地 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

坂の下 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

草津 百八文 百八文 百八文
百八文 百八文 百八文

右十八宿 外宿 守口宿
佐佐木 佐佐木 佐佐木

喜連川 四割半増
御定荷物貫目

一駄荷 二拾貫目

一乗掛下 十貫目
十八貫目

一軽尻の樽 三貫目
五貫目

一人豆荷 五貫目

旅立の飛

應申のあす

神小のあす

河のれ祝む

くまの

はめり 旅立

日さりより

おひより日さ

日とせん

右の二そのおを

旅立のてきる

旅行用心集

懷中小本 全一冊

此書ハ旅ハ出立方論必との用心乃中々云ふべから
祕方天氣日時の考方諸國温泉湯治の考方湯の
効能諸國道にホ委しく旅の有益を記す

東海西道中記

同 全一冊

此本のより東海道を出一つに本方路を出一つ
一宿一者よ名以の考方諸國温泉湯治の考方湯の
効能諸國道にホ委しく旅の有益を記す

東海道千里友

同 全一冊

東海さ名不四法故事本歴詩あ連能其外
乃四り道あさるある記す

本曾路安見繪圖

同 全一冊

此書ハ旅ハ出立方論必との用心乃中々云ふべから
祕方天氣日時の考方諸國温泉湯治の考方湯の
効能諸國道にホ委しく旅の有益を記す

道中記類品

折本一枚抄

文政二年巳卯仲夏

江戸日本橋南壹町目
須原屋茂兵衛板

東洋星文兵衛

文政二年巳卯仲夏

道中御覽 此本一校

大體照張時參圖 全一冊

東海道千里文 全一冊

東海道御覽 全一冊

東海道御覽 全一冊

純

